

拠点名称：大阪湾プラごみゼロを目指す資源循環共創拠点

代表機関	大阪大学	プロジェクトリーダー	宇山 浩 大阪大学 大学院工学研究科 教授
幹事自治体	大阪府	幹事機関	大阪公立大学 サラヤ株式会社
参画機関	立命館大学、東京海洋大学、国立環境研究所、大阪府立環境農林水産総合研究所 花王株式会社、ユニ・チャーム株式会社、UHA味覚糖株式会社、王子ホールディングス株式会社、松谷化学工業株式会社、株式会社浜田、株式会社関西再資源ネットワーク、ニッポー株式会社、藤森工業株式会社、アスカカンパニー株式会社、株式会社三井新、株式会社KYU、株式会社イノアックコーポレーション、株式会社丸萬、興和株式会社、ナガセプラスチック株式会社、有限会社古谷商店、株式会社動力、大阪ガス株式会社、大阪市、東大阪市、阪南市、吹田市、大東市、泉大津市、熊取町		

プロジェクトの概要

本拠点は大阪湾沿岸のプラごみが目に見えて減り、市民が率先してプラごみ問題に取り組む社会の構築を目指す。大阪湾は閉鎖的な海洋であり、海洋プラ問題を取り扱う絶好の研究ターゲットとなるため、本拠点は大阪湾をプラごみ対策事業のモデルとして取り上げ、大阪湾プラごみゼロに必要な社会課題と技術課題をバックキャスト的に抽出し、その実践を地域の多様なステークホルダーが一体となって取り組む場とする。ごみひとつ無い大阪湾を取り戻すことに社会全体が取り組むことで市民のみならず、技術を担当する企業も一緒にわくわくしながら取り組む仕組みを作る。ごみを軸とした大阪湾流域での循環共生圏の創設に向け、技術、政策、地域の共感と理解の三つの柱を軸に地域共創による海洋プラごみの削減を目指す。社会課題として海洋に出てしまったプラごみを無くす仕組みを構築する。ボランティアが積極的に参加できる取り組みをプラ排出企業が支援するスキームを作り、プラごみ回収を通じて地域を活性化する。また、技術課題としてゼロエミッションを達成できるプラ完全資源循環によるプラを循環させ、ごみを環境中に出さないプラ新リサイクル技術、バイオマスプラ製品成形技術、海洋生分解性プラ技術を開発する。

